

## 平成24年度 定期総会開催

文団連の定期総会が、5月27日(日)狭山市駅西口スカイテラス内の狭山市産業労働センター異業種交流スペースにて開催されました。

総会は委任状19名・出席者41名で成立。岸野理事の司会で開会后、片桐会長から、東日本大震災での活動自粛から、通常の活動に戻して、昨年度の青少年文化体験フェスタ(入間川小学校)や市民芸術祭、今年度の桜まつりが実施出来たことを報告し、また桜まつり会場臨時駐車場経費有料化の懸念、フェスタを年1回開催にしたことについて、来賓の方々に支援と理解をお願いしました。

来賓の仲川市長は挨拶の中で、芸術祭や桜まつりが時流に合った“絆”をテーマに素晴らしい出来だった事、文団連が文化の伝承に大きな役割を果たしていること、元気大学も同じ主旨だが、支える人が少なくなるのを危惧している事を述べられました。また「先日TVで三響フルーツ(株)が世界一の匠の技として紹介されましたが、それが狭山にあることを誇りに思います。文化を担う皆様にも大いに期待します」とのお言葉がありました。



来賓の方々と片桐会長の挨拶



熱心に討議する代議員の皆さん

齊藤市議会副議長、松本教育長からも祝詞を頂き、栗原生涯学習部長、北田社会教育課長の紹介のあと、議長に童句振興会の広沢理事を選出して議事に入り、23年度の事業報告と決算報告、並びに、24年度事業計画と予算計画を拍手で承認しました。

質疑応答では、予算計上について来期に向け参考になる示唆を頂く等、成果のある総会となりました。(会報 高沢)

### 文団連 24年度基本方針

市内諸団体・機関との連携を深め、活動の活性化および会員の拡大を図る。

#### 重点項目

1. 狭山の文化(民話・童謡・民謡など)を市民に普及する。
2. 東日本大震災被災者への文化活動支援を継続して行う。
3. あらゆる機会を捉えて文団連活動をPRし、会員の拡大を図る。